

J Aバンク静岡における地域密着型金融の 取組状況について（令和7年度）

令和8年9月



JAバンク静岡（県下JA・静岡県信連）では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

今般、令和7年度における地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

目次

- I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援の一層の強化
(JAバンク静岡の農業メインバンク機能強化への取組み)**
- II 担い手の経営のライフステージに応じた支援**
- III 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底**
- IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献**

I 農山漁村等地域の活性化のための 融資をはじめとする支援の一層の強化 (JAバンク静岡の農業メインバンク機能強化への取組み)

JAバンク静岡は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

1. 農業融資商品の適切な提供・開発

- JAバンク静岡は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 令和8年3月末時点におけるJAバンク静岡の農業関係資金残高^(注1)は31,290百万円、日本政策金融公庫の受託貸付金^(注2)残高は9,407百万円となっています。

(注1) 農業関係資金とは、農業者及び農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク静岡が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】

(単位：百万円)

類型		令和8年3月末
農業		29,066
	穀作	1,993
	野菜・園芸	9,713
	果樹・樹園農業	3,088
	工芸作物	3,420
	養豚・肉牛・酪農	924
	養鶏・鶏卵	166
	養蚕	0
	その他農業	9,762
農業関連団体等		2,221
合計		31,290

※「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者、及び農業サービス業が含まれています。

※「農業関連団体等」には、JAや経済連とその子会社等が含まれています。

※金額は百万円未満を切り捨てて表示しているため、内訳の合計と総額が一致しない場合があります。

【資金種類別農業資金残高】

(単位：百万円)

種類		令和8年3月末
プロパー資金		21,127
農業制度資金		10,162
	うち 農業近代化資金	6,051
	うち その他制度資金	4,111
合計		31,290

※「プロパー資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているものをいいます。

※「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク静岡が転貸で融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク静岡が低利で融資するものを対象としています。

※「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

※金額は百万円未満を切り捨てて表示しているため、内訳の合計と総額が一致しない場合があります。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位：百万円)

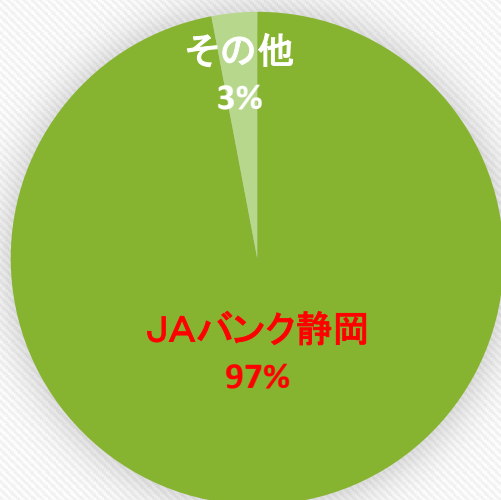
種類	令和8年3月末
日本政策金融公庫資金	9,407
その他	-
合計	9,407

※JAバンク静岡では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取扱っています。

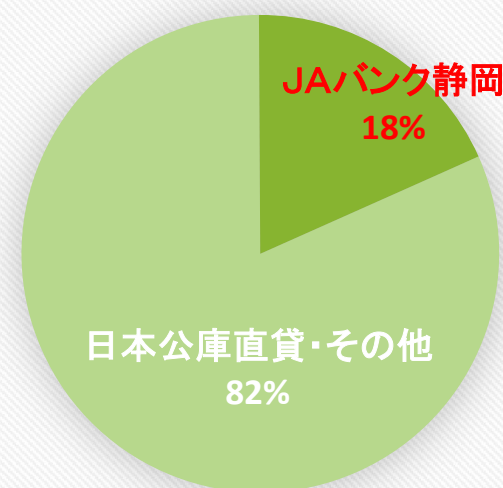
- JAバンク静岡は、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金（公庫直貸除く）の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【静岡県の農業近代化資金及び日本政策金融公庫農業資金の取扱いシェア】

農業近代化資金 融資残高シェア
(令和7年12月末時点)
出所: 静岡県



日本政策金融公庫 農業資金取扱いシェア
(令和8年3月末時点)
出所: JAバンク静岡、日本政策金融公庫



2. 担い手のニーズに応えるための取組み

- JAバンク静岡では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識を持った農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」が、県内10JAの本支店に23名配置され、JAの農業融資に関する活動をサポートしています。
- 静岡県信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充・強化に努めています。

Ⅱ 担い手の経営のライフステージに応じた支援

JAバンク静岡は、担い手をサポートするため、
ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

1. 次世代農業者の育成支援

- JAバンク静岡では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金などを取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】

(単位：件、百万円)

資金名称	令和7年度 実行件数	令和7年度 実行金額	令和8年3月末 残高
青年等就農資金	73	581	3,775
就農支援資金	-	-	3
その他	-	-	-
合計	73	581	3,778

2. 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援 (商談会・ビジネスマッチング)

- JAバンク静岡では、農林水産業の事業力・収益力強化のため、行政や系統団体等と連携し、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。
- 令和7年度の成約件数は57件となり、主な成約事案は以下のとおりです。

「静岡茶」の維持・発展に向けて 高機能バイオ炭を活用した改植・有機転換を推進

ニーズ先 : 株式会社TOWING

マッチング先 : 農事組合法人五明茶業組合・JA掛川市

食 農 V C



高機能バイオ炭を活用した有機転換の実現

株式会社TOWING（以下：TOWING）は、温室効果ガス排出削減と減化学肥料・有機転換を同時に実現する土壌改良剤である高機能バイオ炭「宙炭（そらたん）」の普及に取り組むスタートアップ企業です。高機能バイオ炭の活用を通じて、環境負荷の低減と生産性の向上を目指す持続可能な農業の実現を支援しています。

当会はこの考えに共感し、令和5年11月、TOWINGと連携協定を締結し、静岡県内の野菜生産者を中心に、高機能バイオ炭の普及を進めてまいりました。こうした取り組みを進める中、TOWINGは静岡県を代表する品目である「茶」に着目し、茶生産における高機能バイオ炭の活用・普及について当会へ相談がありました。

茶産地で進む改植・有機転換への支援

県内有数の茶産地である掛川市の農事組合法人五明茶業組合では、近年の煎茶需要の低迷を背景に、抹茶原料となる「てん茶」に適した品種への改良や、輸出を見据えた有機

栽培への転換が進んでいます。

茶の改植や有機転換においては、安定した生産を支える「土づくり」が重要となります。そこで当会は、管内JAであるJA掛川市と連携し、TOWINGの高機能バイオ炭の導入に向けた説明会を開催しました。その結果、令和8年3月の改植を契機として、高機能バイオ炭の試験導入が開始されました。

今後も継続的な改植を予定しており、高機能バイオ炭による有機転換を進めていく意向です。

静岡茶産地の再興に向けて

JA掛川市では令和8年3月に「JA掛川市てん茶研究会」を発足し、掛川市の代表的な深蒸し煎茶に加え、てん茶・有機茶への取組みを強化し、産地再興を図っています。

当会は今後もTOWINGとの連携を通じて、高機能バイオ炭を活用した改植・有機転換を推進し、環境負荷低減と生産性向上の両立を図りながら、静岡茶の維持・発展に貢献してまいります。



茶生産における
高機能バイオ炭の活用・
普及について検討

県内有数の茶産地
である掛川市の
農事組合法人で
試験導入開始

高機能バイオ炭の活用
による環境負荷低減と
生産性向上の両立を
図る

【静岡県信連 農業支援部 担当者コメント】

茶産地静岡を守るため、静岡県内ではてん茶に適した品種への改植や有機栽培への転換が進んでいます。改植や有機転換を後押しする高機能バイオ炭の活用を通じて、「静岡茶」の維持・発展はもちろん、環境負荷低減と生産性向上を目指す持続可能な農業の実現をサポートしていきます。

気候変動に負けない強い農作物づくりを 「農業用有機活性乳酸LACTy」で実現

ニーズ先 : 株式会社御前崎フルーツファーム・ベルファーム株式会社

マッチング先 : 株式会社いと

食 農 V C



有機活性乳酸の力で農業を変える

株式会社いと（以下：いと）は、動植物にとって必要な物質である「乳酸」に着目し、バイオスティミュラント資材「農業用有機活性乳酸LACTy」を開発しました。有機活性乳酸は、植物の生理障害対策、カビ・病気対策、花芽分化や光合成促進などの効果が期待される資材であり、全国のいちご農家やトマト農家等へと導入が広がっています。

有機活性乳酸の導入による園芸課題の解決

いちごの生産法人である株式会社御前崎フルーツファーム（以下：フルーツファーム）では、近年の高温の影響により花芽分化の遅れが課題となっており、改善策について相談を受けていました。また、トマトの生産法人であるベルファーム株式会社（以下：ベルファーム）では、予てより収量増加や成長促進など生産効率の向上に資する情報を積極的に収集していました。

当会では、いとが開発したバイオスティミュラント資材「農業用有機活性乳酸LACTy」がいちごの花芽分化の遅れやトマトの生産効率の向

上に有効であると考え、両法人にいとを紹介しました。現地圃場を確認し、導入条件や活用方法を整理した結果、両法人への試験導入が決定しました。



静岡県内園芸産地への展開に向けて

フルーツファームでは、令和7年10月に本圃での葉面散布から試験導入を開始しました。令和8年産においては、育苗期から使用し、1年を通して効果を検証していきます。

また、ベルファームでは、令和7年12月より一部圃場で試験導入を開始しました。試験導入した圃場では、収量が約10%増加するなど効果が確認できています。これを踏まえ、令和8年9月以降の全面導入に向けて検討を進めています。

静岡県はいちご・トマトの栽培が盛んな地域であることから当会は今後も導入効果を継続的に確認し、静岡県全体への展開を検討していきます。



バイオスティミュラント資材
「農業用有機活性乳酸
LACTy」を開発

いちごの花芽分化の遅
れやトマトの生産効率
の向上に有効だと考え
試験導入開始

試験導入した圃場では、
収量が約10%増加す
るなど効果を確認
全面導入に向けて検討

【静岡県信連 農業支援部 担当者コメント】

いちごの生産法人からは近年の高温の影響が大きく、需要がピークとなるクリスマスシーズンに安定した出荷ができないという悩みを聞いていました。他県でも実績があるいちごやトマト、キュウリ等は県内でも栽培が盛んであり、今回の試験導入で好結果が得られれば、JA等への展開も検討していきます。

担い手コンサルティングを活用し 新規作物（畑わさび）へ挑戦

ニーズ先：株式会社モスファーム

マッチング先：JAふじ伊豆

担い手コンサル



担い手コンサルティングを活用した経営支援

株式会社モスファーム（以下：モスファーム）は、静岡県富士宮市で40年以上、苔の生産・販売を行っている農業生産法人です。モスファームでは、近年の気候変動への対応やさらなる事業の発展・拡大を見据え、新たに食用作物の栽培事業について検討していましたが、食用作物に係るノウハウが不足していたことや栽培品目の選定など事業実現に向けて課題を抱えており、当会に相談がありました。

そこで当会は「担い手コンサルティング」を導入し、食用作物に精通しているJAふじ伊豆と連携して新規食用作物栽培事業の開始に向けて支援を行いました。

新たな事業、畑わさび栽培に挑戦

担い手コンサルティングでは、JAふじ伊豆と連携し、モスファームの財務分析や事業性評価、収支シミュレーションを実施し、どのような作物がモスファームに適しているのか新規栽培事業の候補となる品目について提案しました。その結果、地域として産地化を目指している「畑わさび」を新規栽培事業の候補として具体

的に検討することとなりました。

畑わさびは、JAふじ伊豆管内で重点的に推進している品目の一つであり、将来的な産地化に向けて規模拡大の余地が見込まれる点が特長です。加えて、JAにおいて栽培ノウハウが蓄積されているほか、資材供給、土壌診断・土壌改良を含む営農支援体制も整っており、食用作物の栽培が初めてとなるモスファームにとって導入メリットが大きいことから、畑わさび栽培に挑戦することが決定しました。

畑わさび栽培事業は、まず育苗事業から開始し、将来的には本格的な栽培へと段階的に移行する計画です。

JA・信連が頼りになる存在であり続けるために

担い手コンサルティングは、財務分析に加え、JAの営農部門とも連携し、JAグループならではのソリューション提案を行う取組みです。当会は今後も、本取組みを一層強化し、静岡県内の農業者の成長と経営の安定に向けた支援を通じて、地域農業の持続的な発展に貢献してまいります。



「担い手コンサルティング」
を導入し、新規食用
作物栽培事業を目指す

JAふじ伊豆と連携し、
財務分析や事業性評価、
収支シミュレーションを実施
畑わさび栽培に挑戦

農業者の成長と経営の
安定に向けた支援を通
じて、地域農業の持続
的な発展に貢献

【静岡県信連 農業支援部 担当者コメント】

モスファームの北條社長は前社長からの事業継承以降、苔のブランディングに力を入れてきました。次なる一手として、苔とは異なる農産物へのチャレンジの相談を受けたことをきっかけに、担い手コンサルティングを導入しました。今後もJAグループならではのソリューションの提供を通じて農業者の期待に応えていきます。

【その他食農ビジネスマッチング取組事例（抜粋）】

連携先	ニーズ内容	マッチング先	概要
廃棄物処理業	関連会社農業法人より トウモロコシの販路紹介	スーパーマーケット	トウモロコシの販売が決定。
農業生産法人	小ネギの販路紹介	スーパーマーケット	小ねぎの販売が決定。
農業生産法人	規格外枝豆の販路紹介	青果卸売業	規格外枝豆300kgの販売が決定。
菓子製造販売業	冷凍いちご・もち米の仕 入先紹介	青果卸売業 J Aふじ伊豆	静岡県産冷凍いちごの納入が決定。 もち米の納入が決定。
スタートアップ (品種開発)	海外輸出向けいちご品 種の生産委託先の紹介	農業生産法人	試験栽培を開始。
飲料製造業	設備投資に活用できる 補助金等の紹介	スタートアップ (補助金申請支援)	補助金申請支援に係る契約を締結。
農業生産法人	M&A実施にあたり、アド バイザリー契約締結先の 紹介依頼	農林中央金庫	農林中金提携先とファイナンシャルアド バイザリー契約を締結
スタートアップ (Jクレジット 申請代行)	静岡県産農業由来Jクレ ジット購入先の紹介	運輸業	静岡県内で「水稻中干し延長」によっ て生成されたJクレジットを販売

3. JAバンク静岡講演会・セミナー等の開催

- JAバンク静岡では、お取引先様や系統団体等を招いたセミナーを開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【令和7年度講演会・セミナー開催実績】

講演会名	開催日	主催者	参加者	内容
アグリビジネスセミナー	令和7年11月18日	静岡県 静岡県信連	72名	マーケティング・補助金紹介・農業法人の企業連携等

令和7年11月に、農業所得の向上や地域活性化に資することを目的として、農業者が活用可能な補助金の紹介および農業における事業継承をテーマにセミナーを静岡県と共同開催いたしました。



JAバンク静岡
 県下JA・静岡県信連

明日の農業を担うみなさまへ
アグリビジネスセミナーのご案内

【講演1】
 すぐに出来る、
 農業収入を上げるための
 3つのポイント

【講演2】
 農業者の活用可能な
 補助金について

【講演3】
 農業法人の経営拡大に
 おける企業との連携

こんなお悩みがある方におすすめします！

直売所の活用方法を知りたい

商談会やパイヤーとの交渉方法

どんな補助金を活用できるか知りたい

販路拡大について知りたい

日時

令和7年11月18日(火) 13:00～

開催場所

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」
(静岡県静岡市駿河区馬淵1丁目17-1)

主催

JAバンク静岡(県下JA・静岡県信連)
静岡県

講師(予定)

● 株式会社アグリフードシステム研究所 代表取締役 楠元武久氏
 ● 株式会社Stayway(公認会計士) 浜名礼奈氏
 ● 株式会社鈴生 代表取締役社長 鈴木貴博氏

申込方法

申込書に必要事項をご記入いただき、電子メール・FAX等でお申込みください。
 申込期限：11月14日(金)
※WEB受講の方には、セミナー番号、セミナー資料等を別途送付いたします。

ご不明点等ございましたら、下記セミナー事務局もしくは
 お近くのJAまでお問い合わせください

静岡県信用農業協同組合連合会(略称：静岡県信連) 農業支援部(担当：細澤、小泉、森)
 TEL：054-284-9528 E-mail：nogyo@skb.or.jp

4. 災害等の被害を受けた方への支援

- JAバンク静岡では、災害により被災した方々を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や農業者の資金調達費用負担軽減のため、利子補給や保証料助成を実施しています。

【令和7年度 利子補給による支援（単年度）】

（単位：件、百万円）

支援項目	支援主体	内 容	件数	助成等金額
平成30年台風24号静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	平成30年台風24号で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 102	利子補給額 2.3
令和元年台風19号静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	令和元年台風19号で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 23	利子補給額 0.2
令和元年降雹静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	令和元年降雹で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 24	利子補給額 0.1
新型コロナウイルス感染症静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 240	利子補給額 3.5
令和3年突風静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	令和3年突風で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 3	利子補給額 0.1
令和4年台風15号静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	令和4年台風15号で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 11	利子補給額 0.2
令和4年ウクライナ情勢に伴う原油価格・物価高騰対策利子補給の実施	静岡県信連	ウクライナ情勢に伴う原油価格・物価高騰等により農業経営に影響を受けた農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 30	利子補給額 0.5
令和5年突風静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	令和5年突風で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 1	利子補給額 0.1
令和6年台風10号静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	令和6年台風10号で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 3	利子補給額 0.1
令和6年突風静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	令和6年突風で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 1	利子補給額 0.1
合計			438	7.2

【令和 7 年度 保証料助成による支援（単年度）】

（単位：件、百万円）

支援項目	支援主体	内 容	件数	助成等金額
令和 6 年台風10号静岡県災害緊急特別対策保証料助成の実施	静岡県信連	令和 6 年台風10号で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る保証料助成	保証料助成 件数 2	保証料 助成額 0.3
令和 6 年10月突風静岡県災害緊急特別対策保証料助成の実施	静岡県信連	令和 6 年10月の突風で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る保証料助成	保証料助成 件数 3	保証料 助成額 0.9
令和 7 年台風15号静岡県災害緊急特別対策保証料助成の実施	静岡県信連	令和 7 年台風15号で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る保証料助成	保証料助成 件数 2	保証料 助成額 0.1
合計			7	1.3

5. 事業性評価を通じた農業者の経営課題の把握・課題解決 ソリューションの提供・蓄積

【令和7年度の農業者への経営改善支援等の取組実績】

(単位：先)

区分		期初経営 改善支援 取組先 A	Aのうち再生 計画を策定 した先 a	Aのうち期末 に債務者区 分がランク アップした先 b	Aのうち期末 に債務者区 分が変化しな かった先 c	事業計画 策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先 ①		9	9		9	100.0%	
要 注 意 先	うちその他要注意先②	9	7	3	5	77.8%	33.3%
	うち要管理先 ③	1	1	0	1	100.0%	0.0%
破綻懸念先 ④		5	2	1	3	40.0%	20.0%
実質破綻先 ⑤		2	0	0	2	0.0%	0.0%
破綻先 ⑥		0	0	0	0	—	—
小計 (②～⑥の計)		17	10	4	11	58.8%	23.5%
合計		26	19	4	20	73.1%	15.4%

Ⅲ 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底

JAバンク静岡では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

1. 資本供与の取組み（ファンドの活用）

- JAバンク静岡では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

出資状況 7件 125,820千円

（※令和8年3月末時点）

～（例）信用力強化に向けた資本供与（※令和3年度事業）～

- JAグループと取引のある農業法人に対する支援策として、JAと静岡県信連、農林中央金庫、アグリビジネス投資育成(株)が連携し、アグリシードファンドによる出資を行い、生産規模を拡大している当社の運転資金の支援を行いました。
- 出資を受けたことで、資本力が増強し、財務の安定性を図ることにより信用力の強化に繋がりました。信用力の強化は資金調達力の強化にも繋がります。
- 引き続き、JA営農・金融部門における支援がなされることから、静岡県信連では金融支援に加え、取引先等とのビジネスマッチングによる販路の確保支援等を図っていきます。



2. 負債整理資金による経営支援

- JAバンク静岡では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【令和7年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	令和8年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	-	-	-
JA農業負債整理資金	-	-	37
合計	-	-	37

※「農業経営負担軽減支援資金」は、営農に必要な資金の借入により生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

3. 動産担保融資の活用

- JAバンク静岡では、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。

静岡県における融資の実績は次表のとおりです。

【動産担保融資活用実績】

(単位：件、百万円)

	令和7年度末	
	件数	残高
農産物	-	-
畜産物	6	96
機械設備	-	-
その他	-	-
合計	6	96

※内容：乳牛

IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した 持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク静岡では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

1. 食・農への理解促進

- JAバンク静岡は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、令和7年度には特別支援学校を含む県下約490校の新小学5年生を対象に約31,000冊を配布し、学校の授業等において活用されています。



- JAバンク静岡は、「JAバンク静岡アグリサポートプログラム」における担い手育成支援事業として、農畜産業の担い手の育成や地域農業基盤の振興・発展及び地域活性化に繋げることを目的に、平成28年度より県内の公立高校や大学の学生が行う研究等に対して、費用助成を実施しております。

令和7年度については、対象校（県内の公立高校11校及び静岡県立農林環境専門職大学）が実施する29の研究等に対して、総額525万円の助成を実施し、令和7年8月5日(火)に静岡県立農林環境専門職大学、令和7年8月27日（水）に静岡県教育委員会にそれぞれ目録を贈呈いたしました。

写真左から
静岡県信用農業協同組合連合会
代表理事理事長 吉田 正吾

静岡県立農林環境専門職大学
学生代表 天貝 はな 様



写真左から
静岡県信用農業協同組合連合会
農業支援部部長 本間 均

静岡県信用農業協同組合連合会
代表理事理事長 吉田 正吾

静岡県教育委員会
教育長 池上 重弘 様

静岡県立静岡農業高等学校
校長 新林 章輝 様